

非暴力を以て行動

83.2.20

131



war resisters' international

シブシブシブシブとスズメガキ

紀元節反対反靖国・反天皇制閣内集會の提起

反靖国・反天皇制連続講座には、時々こきせてもらってゐるんですけど、いつもひとつも発言したことないし、天皇制について、他で話したこともないし、書いたこともない。その私がなんでパネラーに呼ばれたのかなあ、と青天のへきれきや、た。ほんまに…。

でも、ネが軽蔑なもんやからなんでもやってみれ、ゆうことで引き上げまして、前回の講座は、とくにどんなひとが聞きにきては人のかなと様子を窺にきたんです。そしたら、や、は、し、どうもむつかしそうな雰囲気、いっぺんに勇気がくじけてもした。それで帰りがけ、川柳さんに、なんぞうちで声がかつたの、って聞いたたら、与軍前のデモの時のアレがよかつたから、といわは、たんで、「そうか、ふうん、って、こんどは又い、ぺんに安心してしもた」といふわけでした。

その、五年前のデモというのは、一九七九年の二月十一日・元号、法制化反対・反靖国・反天皇制閣内集會のときのデモです。

デモの先頭は四列縦隊、そのいのセツケン（はちまき）、といったかんじの一団で、そのあと少し離れて、ロープにプアカードをいくつもつるしたのを両側に、まるで電車、このようになにぎやかな二のミのミの人ぐらいの、といつても、私たち十人ばかりに何となくうしろの人がみんな加わ、てきてーという一団がつづいてんで。

その先頭は、というダンボール箱に入、た天ちゃんか、



ひまこひまこ帽をかぶって歩いていく。

と、列のごごからか、「ふんならシユプレヒコール、いきまっせ」「よいし」

・昭和てなんや

・天皇てなんや

・天皇は、

・天皇は、

・天皇さん、

・天皇さん、

・明治、

・大正、

・ヒロヒトがおダブツすれば、

・とすると、元号は、

●元号法制化ハンターイ



・天皇の戒名や

・人殺しやんけ

・戦争犯罪人やで

・恥しらすな税金ごころぼつや

・もうやめなはれ

・かわいそうに

・昭和天皇、

・天皇と同じことやんか



こ、まあこういふかけあひ式のシユプレヒコール。ハンドマイクを参加者全員にまわしながら、ひとりひとりアドリブをまじえてや、たんです。

ほかには、「ガン号法制化ハンターイ」「アツちごた、ガン号でもゲン号でもハンターイ」なんてゆうもんやから、みんな大笑いの大よろこび。

先頭をいく天ちゃんにもマイクがまわってくる。アツソウ。キーンも、元号制がご迷惑に思っておるぞよ。国民のみなさんが強く反対してくださることを希望します。

…デモのそばでガナッている機動隊の諸君。くるしゅうないから下がっていなさい。…」

なあんて、大いにリラックスして、デモを楽しんだんです。

ところで、デモが終った時、実行委の一人の方から、「あのシユプレヒコールでは、天皇制の本質をついていないし、あれだけではほんとうの天皇制を撃つ力にはならない。うしろがちくはくはく騒ぐことで統一できなかつた」といわれ、そうかなあーと、それ以来すう、と気になっていたのでー

だから、「あれがよかったという評価もあるんやナレ」と、とてもホッとしたというわけでした。

実をいうと、あの日は、反公害住民ひろばの非暴力直接行動講座が三回目まで実践して銘うって街に出ようということになっていて、その日あつまつたのが丸だったんです。

天皇制は反公害と関係あるけど、反公害はどのように天皇制とかわってくるかというどむつかしい。ま、ざぶくばらんについて、日ごろ天皇制や元号問題のこと、深く考えたことのないもんがほとんど。その日がちようと二月十一日だったからという

ことで、そのデモに加わる

ことがその場で決まっただけの話。

11時に集まって、2時から

の集會に合流しようというのだからたいへん。



このエッセイの申込みは、宛名記入の封筒に60円(半分の30円)切手を貼って、らぶら枚(約半年分)を、ウリ大阪「水田へお送り下さい」

あなた以外の他の一般の人たちはどう思っていると思うか
必要 不必要

という簡単なものですが、若い人は、好きでもキライでもアツカリ答えてくれたけど、年輩の人は、一たんアンケートに反応しない態度を見せながら、「天皇をどう思うか」と聞くやいなや、険しい顔して、手をふりながら、頬をそむけて行ってしまふんですね。だから、しまいにこっちもそんな人にあたるコワイような気がしてきて、ついつい人を送んで近づいて行つたもんね。

年輩の人の中には、だしかに天皇制が生きものであるってかんじでした。それにくらべ若い人は、一見数前のような天皇制の呪縛からは解放されていっているように見えます。

（これは、好きで必要・嫌いで不必要という当然のこと以外に、好きだけと不必要・嫌いだけと必要というのもある）
「ってけっこう自由にものを云つてるようになかんじで、そこにタブー視は感じられません。」

のちゃん、私と同じのしして、ひ

とまわりちがうんだけど、彼女に聞いてみると、「天皇制は問題やと思ふけど、あの天皇がコワイいうかんじはないわー」という。

しかし、実際には、あのお人好しで利用されているように見えてくる天ちゃんコワイんや。

それがはつきりとわかつたのは、天皇在位五十年式典に對しての

好きで必要	(19人)
嫌いで不必要	(8人)
嫌いだけど必要	(4人)
好きだけど不必要	(2人)
考えたこともない	(1人)
計	36人

「天皇風刺ステッカー事件」。
あん時はびっくりもびっくり、びっくりかえりました。
うちらたいしたことではけんから、風刺ステッカーでもつくろう

というわけで、つくつたのが、天皇の写真の上に「この顔みたら一〇番」罪状A級戦犯、アジア人民大屠殺」と記入した。手配書
ふうのや、「忌」や「呪」の字と、菊の紋章をあしらって「しつこいなあ。もうやめなはれー国民一同」と書いたのが、「アツクウ」とこんどは象徴の面をつけ、「罪深き五十余字を肥えふどり」の川柳とか、七、八種類つくつたんです。

これが全国、いやヨーロッパ、ハワイ、ホンコンまではりだされ、キャクキャクとよる二人でたら、ナント、十一月三日、朝七時半、まだ寝ているところをケイサツにふみこまれたんです。

その前夜にやったシンポジウムでは、天皇制ゆつてもはつきり見えへんしどうもピンとこない。実感がないと云うてたばかりなのに、ピンとけえへんどころのさわぎやない。

罪状は氏名不詳者が、大阪経済大学の学園祭の当日に不法侵入して、学校の建物にステッカーをはった。おまえらは、そいつとナント共謀した容疑やというわけです。

つまり軽犯罪法違反ということで家宅捜査にきたのです。
ステッカーはりを見つかつて、軽犯罪法の現行犯やたら、まつれていられることはままあつても、誰がは、たがわからんステッカーに共謀容疑で家宅捜査にくるなんて、まさに前代未聞。

「法度なの、天皇批判」という見出しで朝日新聞は書いてくれ



へんげど、たまに一筆
 感想もろふら
 ウレしいヤア

反
 反
 反
 反

日本郵政省
 発行・一九八三年二月
 25日・送料 四円

たり、NHKニュースで大きくステッカーが写しだされたりして、おかげで何百万円分の宣伝になって、最初の目的は果たしたわけやけど…

けど、それにしても、これまでいろんなステッカーをつくったりはったりしたけど、こんな効果テキマン、靈けんあらかたというか、すぐにバチがあたるお札ははじめてや。

こっちはぶつうのじらはりと同じ位に考えてる行爲が、こと天皇にふれるとこのだたりがおそろしいこと。

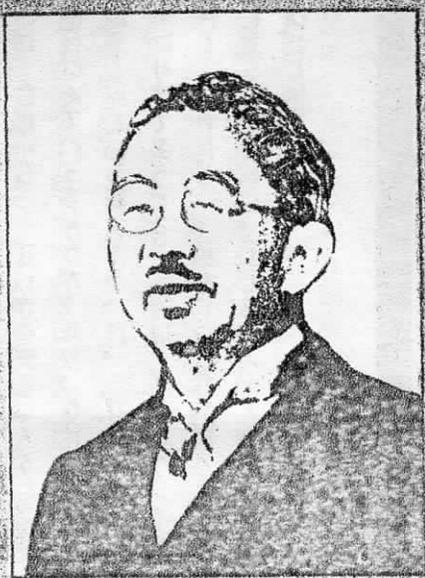
天皇制、さわらぬ神にたたりなし、だけど、天皇制、さわれば最後、カクゴせよ、そして、天皇制、さわってみればよく知るゝです。

で、それ以後、ステッカー事件に関係したものに対しては天ちゃんが大阪の近所にくるたびに、ひどい時はその10日まえぐらいから私服がどこにいくにもついてくる。そのつき方はものすごくロコツで、明らかに昔の予防検束と実質同じ役割を果たすもんや。天ちゃんや皇族と関係のある前後のその日には、ビラ一枚まけないという状態です。

不当な家宅捜査に封して筆報告したところ、却下になったんですけど、その判決にもはつきりと、本件ステッカーの内容に照すと、本件軽犯罪法違反被疑事件の態様は必ずしも軽微とは云い難く、らと内容を肉題にしている、天ちゃんにさわるな、というわけですよ。

東アツア反日武装戦線の天皇の列車を爆破しようとして未

この顔みたら110番!



罪状：A級戦犯
 アジア人民大量虐殺

遂に終った虹作戦に言及する判決文を読むと、それは、はつきりと大逆罪を思わせるものです。

たしかに右翼がこわいところがあるけど、今一番必要なのは、おそれおおい天ちゃん個人を巻にひきずり出して、「デモのシュプレヒコールみたいに、わたしたち一人一人の声を千代田の森に南こえるように、おまえなんかクライヤイランわらこか、もうやめなはれ、おかわらそう、こが、ワイワイガヤガヤしたてることやないかな、と思っんです。せしたら、いっぺんにたたりが見えまくるしく判る。

X X X

女をいぢめる 反原発・女の長所

2月13日午後2時
から、つゆくさ小屋
へ反原発・女の長所
呂一電氣使てるわた
しらが反原発いえる
のゾーVと銘うって
おしゃべりせえへん

か、いうことで集ったのが女8人。そこへ男のMさんが1人加わった。
今日日は混浴やから、遠慮せんと、ま、なんでもーと云われて、
Mさん「電氣は、栓をあけようばなしにジャージャー流してる水道みた
いなもん。とめたり貯めたり出けへん。そのときそのとき使わへんか
つたら、まるっきリムダになる。電氣使てるから、原発反対でけへ
ん。このうのは、現実にあてはめるとまるで見当ちがひのリクツ。つ
まりムダに流れてる電氣を有効に使うこと。もうこれ以上、電氣会社
にムダになる電氣をつくらせへんこと。電氣をムダなく使わなアカ
ンから原発反対。これがほんまの省エネの節電や。ーそうや。そう
や。うまいこというわア。というわけで、いままでキヤア、がやが
やだったのが、とたんにみんなが揃き入るといふフンイキ。それはど
れでエエけど、アレツ、男がまじったり話したりすると、一ペンにこ
んな風になるというのはい体女にとってどんな意味なんやろか。

井戸端会ずの持つ、気易さ、気整さ、お互いの間に生れるなん
ともいえない親和力。話題の飛躍やとんでもない発想の交錯↓展
開、変転のおもしろさ。ひょうたんから駒のような結論の意外性。
その過程がたのしくおもしろく、結果なんてもんは、それまで
あ、ち飛びこ、ち飛びしていったと思ったり、あ、という向にあっ
さり決まってしまうのだ。会議に、ひとり残らず参加して――
しかも自分の都合でいつでも進退は自由。これこそが今まで女の
欠点といわれてたところをこらえ返して、短所変じて長所となす
ー女のやりやろと。

そもそも、なにがなんでも原発に反対する女グループは、男た
ちがつくり出した固まるじくも、もつともちしく、形式的でムズカ
シイ集りのフンイキに、女は全ッ息しそつでいたたまれず、解放
どころか抑圧を感じていて、もうこれじゃあアカンワイという感
とから発足したんやっ。

それで、女ばかりでやり出すなかで、何となく感じ、発見し、
つかまえてとり出すことになったのは、今まで女の属性といわれ、
短所欠点と男の価値基準でいわれているものが、ひよ、とじて、
男たちに欠落している女の長所・特長で、武器ともなるものやな
いか！という、次第には、きりしてきた感じと、その手応えみた
いなものやっ。

そこで話題を一転ーでは男と女の特長(それは短所であれば
又必ず長所でもある)を、それをお互いがどうとらえているか、それ
を長所としてどう運動に活かすことができるか、ということに焦
点をあてて話をしようというところになった。

そこで男代表のMさんが思いつきのあげた、女の一般的特性とは一

●感情的。ということは感性的。ということは生理的。ということとは肉体的・肉体的ということとは、いいかえると動物性、動物性ということでは直感的ということでは感情的と関連する。つまり感情的という場合、それは肉体に即した感情で、観念的ではない。

●また感情的と関連して、ものごとの判断が主観的で、その主観は経験的、直観的、虫観的だ。それは日常的・身辺的・生活的ということだし、生活的ということでは相互依存的・共存的・群性的ということでもある。群性というのは、自律的ではなく他律的で融和的ということもいえる。

それから、連想が具体的に形やくして想像力化するところとMさん。

「ふーん、漢字三文字でズラズラなるべなるんぢやあ、十まで男、出し方がうねえ。」「異論はっ、まあ特にならねえ。」

「ほな、女の方から男をみるとおまのうことになるか云うてみよ」「自分のことより天下國家のことをしやべりたがる」

「理屈をこねて頭でわかろうとする」

「大きい目で全体を見わたすことができるみたい」「アッハハ」

「持続力がある」「ええ、ア」「だって、つとめを一生続けられるんやもん」「まるでバカみたいやないの」

「うちの会社の男どもは、すぐ群れたがるけいなあ」「それ教師とかいうんやろ」

「暴力的やわ」「何を考てるのやら、別れへん」

ウチ利乃本部(カ)乃あ何は止ま小安天乃るを、お

「感じてることをあらわすのがヘタやな」「自制力がありますんぢやうか」

「喜怒哀楽が伝わってけえへんわ」「無神経」

「はた目の評価、メンツを気にするワ」

「ロマンチストや思っわ」

「衣食住に關心ないみたいナ」「ほんまやし」

「がんこ」「攻撃的」「行動力がな」「しくさがなくて面うない」

「ええとこい、こもならやんか。しかし出し方ひとつにしてもえらんくちがつもんや。女はおしゃべりの、男は論理的。」

そこでこんどは、男と女の二つの特性を対照させながら、「女の特性をどう長所として引き出すか」となったのやけど、さあこれは

そんなにカンタンにはいきません。時間切れで、では次の集りで継続して考えよ、ということでは今回は終了。

「女の特性のなにをどう長所として運動の力としてどうえ直すか」

「レレ、レレとしたイントでもあなたの思いついたこと気懸りに一筆書いて、どうか送って下さい。」



(小)



▲一月二日の新年会の時、今年はず、非暴力直接行動を毎月だすゾーと宣言したば、かりなのにとどうたら一月は出でずじまい。二月も、もう半ばすぎでしまった。去年は8号出したから今年はず、せめて十号は、こちよ、と目標を上げよ。

▲野太七、八匹にとりかこまれ食われそうになつてた野良ネコを助けてしまったので、住人がまた一匹ふえました。ヒロヒトとワロは仲が悪いので、

振替 大阪一三三七三七 ウリジャパン 向キ者